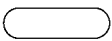
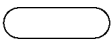




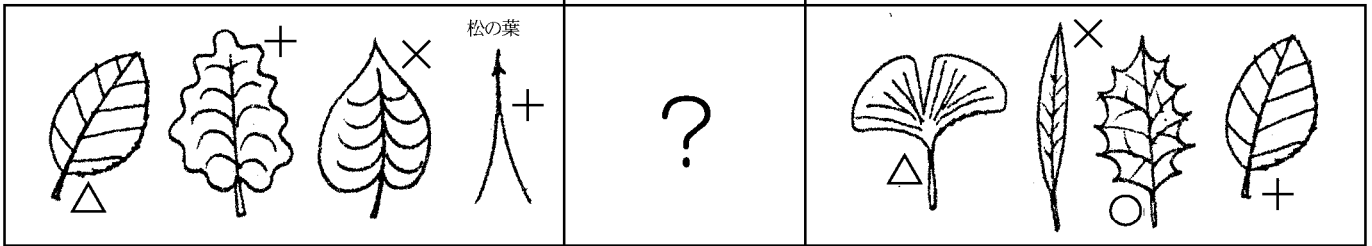
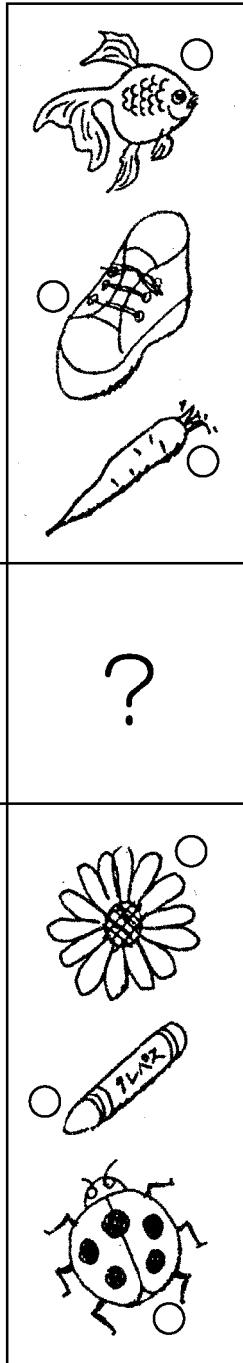
1) しろしの通り絵に色(黄・ピンク・水色・黄緑など明るい色)をぬらせる。その作業のなかで気付くこともある。
2) 「?」に入るのほどれかを考えて、切り貼り。
3) なぜなのか、理由を説明させる。切り貼りは正答しても、説明は難しいとことが多い。

a) ピアジェらの交換分類法に色塗りの作業をプラスし、
た課題。ピアジェによれば、色とモノの両次元を統合
できるのは7~8歳とされるが、幼児でも色を塗る作業
によって解いたどりに着くことはできる。
b) 二次元分類であるマトリクスの原理だけ抽出した形。

Date /
Note
評

しろしのおり
いろをぬりなさい。

- =  あか
- × =  あお
- △ =  き
- + =  みどり



? には、
どれをいれよう。

